

## 主要諸元

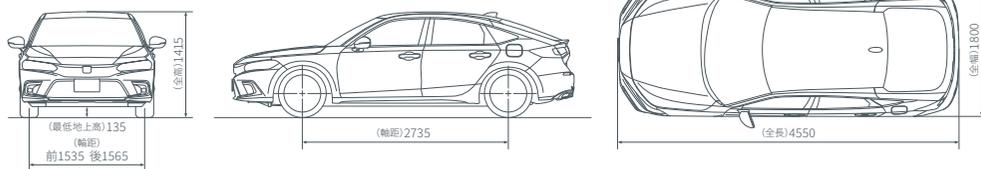
タイプ	e:HEV	
駆動方式	FF	
車名・型式	ホンダ・6AA-FL4★	
トランスミッション	電気式無段変速機	
寸法・重量・乗車定員	全長(m) 4.550 全幅(m) 1.800 全高(m) 1.415 ホールベース(m) 2.735 トレッド(m) 前/後 1.535/1.565 最低地上高(m) 0.135 車両重量(kg) 1,460 乗車定員(名) 5 客室内寸法(m) 長さ/幅/高さ 1.915/1.545/1.145	
原動機	エンジン エンジン種類・シリンダー数及び配置 水冷直列4気筒横置 弁機構 DOHC チェーン駆動 吸気2 排気2 総排気量(L) 1.993 内径×行程(mm) 81.0×96.7 圧縮比 13.9 燃料供給装置形式 電子制御燃料噴射式(ホンダPGM-FI) 使用燃料種類 無鉛レギュラーガソリン 燃料タンク容量(L) 40	
性能	エンジン 最高出力(kW[PS]/rpm) 104[141]/6,000 最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm) 182[18.6]/4,500 電動機(モーター) 最高出力(kW[PS]/rpm) 135[184]/5,000-6,000 最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm) 315[32.1]/0-2,000 WLTC燃料消費率(国土交通省審査値)(km/L) 24.2 市街地モード(WLTC-L)(km/L) 21.7 郊外モード(WLTC-M)(km/L) 27.6 高速道路モード(WLTC-H)(km/L) 23.4 主要燃費向上対策 直噴エンジン、ハイブリッドシステム、 アトキンソンサイクル、可変バルブタイミング、 電動パワーステアリング 最小回転半径(m) 5.7	
主動力源	種類/個数 リチウムイオン電池/72	
動力伝達・走行装置	減速比 第一:2.454(電動機駆動) 0.805(内燃機関駆動) 第二:3.421 ステアリング装置形式 ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様) タイヤ(前・後) 235/40ZR18 95Y 主ブレーキの種類・形式(前/後) 油圧式ベンチレーテッドディスク/油圧式ディスク サスペンション方式(前/後) マクファーソン式/マルチリンク式 スタビライザー形式(前/後) トーション・バー式/トーション・バー式	

■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。■WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。

★印の車両は、自動車重量税の軽減措置が受けられ、2023年4月30日までの新車登録が対象となります。また、環境性能割が非課税となり、2023年3月31日までの新車登録が対象となります。

## 寸法イメージ図

単位:mm



## 環境仕様

基礎情報	車両型式	6AA-FL4
	原動機	LFC-H4
	総排気量(L)	1.993
	駆動装置	駆動方式 FF
環境性能情報	燃料消費率*1	WLTC 燃費(km/L)*2 市街地モード(WLTC-L) 21.7 郊外モード(WLTC-M) 27.6 高速道路モード(WLTC-H) 23.4 CO <sub>2</sub> 排出量(g/km)(燃費からの換算値) 95.9
	参考	2030年度燃費基準達成車
	排出ガス	適合規制・認定レベル 平成30年排出ガス基準75%低減 試験モード WLTCモード 認定基準値(単位:g/km) CO 1.15 NMHC 0.025 NOx 0.013 参考 九都県市指定低公害車の基準に適合(平成30年基準)
	適合騒音規制レベル	平成28年騒音規制 規制値:加速走行70dB(A)
	エアコン冷媒	種類/GWP値*3 HFO-1234yf/1*4 使用量 470g
	車室内VOC	自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)
	環境負荷物質削減	鉛 自工会2006年目標達成(1996年使用量*5の1/10) 水銀 自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止*6) 六価クロム 自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止) カドミウム 自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)
環境への取り組み	リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示 100g以上の樹脂部品全て リサイクルし易い材料*7を使用した部品 インナーウェザーストリップ、ウインドウモールなどの内外装部品 再生材を使用している部品 バッテリーボックス リサイクル可能率 車全体で95%以上*8
	その他	グリーン購入法適合状況 グリーン購入法適合車

\*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。\*2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。\*3 GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数) \*4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められています。\*5 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。\*6 交通安全上必須な部品の極微量使用を除く。\*7 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。\*8 「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。※この環境仕様書は2022年6月現在のものです。

■主要諸元は道路運送車両法による型式指定申請書数値。■CIVIC、Honda SENSING、LKAS、PGM-FI、プライムスムーズ、Prime Smooth、VSAは本田技研工業株式会社の商標です。■Boseは、米国BoseCorporationの登録商標です。■ウルトラステアードは東レ株式会社の登録商標です。■プラスマクマスターはシャープ株式会社の登録商標です。■製造事業者:本田技研工業株式会社

「2030年度燃費基準達成車」

「平成30年排出ガス基準75%低減レベル」認定車

この車種で採用しているガスの地球温暖化への影響が低い

2023年 1